

令和 7 年度使用中学校教科用図書
に関する調査報告書

教科名 国 語

(様式1)

教科用図書調査に関する報告書

教科	国語
----	----

発行者 略称	発行者 番号	教科書の 記号・番号	教科書名	調査結果の概要
東書	2	国語 002-72 002-82 002-92	新編 新しい国語 1 新編 新しい国語 2 新編 新しい国語 3	・中学生の生活経験に即しておらず、興味・関心を持ちにくい作品や抽象的な表現が多く内容的に難しい作品がやや多い。 ・古典で「浦島太郎」や「伊曾保物語」など、生徒に昔話としてなじみ深い作品があり、資料も多く、古典に力を入れている。 ・「平家物語絵巻」や「春望」「一の谷の戦い」「平泉」などの古典の説明がとても丁寧で資料が多く、カラーで見やすい。 ・中学生という発達段階から考えるとイラストや吹き出しが多い。 ・扉の詩、短歌、俳句には写真があり季節感が感じられ、生徒の興味・関心を引き出しやすい構成となっている。 ・各学年の「未来への扉」でSDGsに関する内容が取り上げられており、国語科の中でSDGsを考えるよいきっかけとなる。 ・学習者用デジタルコンテンツにおいて、Google 翻訳が使えることは、外国籍の子どもがいる場合に助かる。 ・全体的に文章量が多く、国語科の学習時間を考えるとやや分量が多い。

発行者 略 称	発行者 番 号	教 科 書 の 記号・番号	教 科 書 名	調 査 結 果 の 概 要
三省堂	1 5	国語 015-72 015-82 015-92	現代の国語 1 現代の国語 2 現代の国語 3	・デジタルコンテンツでは、新出漢字の筆順が分かるように工夫されており、個別学習に効果的である。 ・資料が多く掲載されているため、別途、資料集等を購入する必要がない。 ・古典の資料がやや少ない。 ・何を学ぶのかがわかりやすく説明されており、生徒が見通しをもって学習を進めやすい工夫がなされている。 ・表紙、写真、挿絵、歌詞など、生徒の興味をひく工夫がなされている。 ・「読み方を学ぼう」では、簡潔な文章で視覚的にも捉えることができ、わかりやすい。 ・「言葉発見」や「学びの道しるべ」のページでは、自分の考えをまとめるための言葉にこだわった思考の方法が記述されている。 ・「小さな図書館」の二次元コードを開けば作品の一部を読むことができ、読書への意欲を持たせるきっかけとなる。 ・SDGs との関連がややわかりにくい。 ・領域別一覧では、どのような力をつけるのかが一目で確認できる。 ・資料に学習用語辞典、五十音図、ローマ字が掲載されており、わからないことをすぐに確認することができる。また、外国籍の生徒も学習しやすい。 ・1年「情報を関連づける」では、漫画を使って解説しているところが読みやすく、興味をひきやすい。 ・「デジタル漢字ドリル」はタブレット画面に書き込んで解答する形式ではなく、すぐに答えのみが出てくるため、生徒の主体的な学びに繋げづらい。

発行者 略 称	発行者 番 号	教 科 書 の 記号・番号	教 科 書 名	調 査 結 果 の 概 要
教 出	1 7	国語 017-72 017-82 017-92	伝え合う言葉 中学国語 1 伝え合う言葉 中学国語 2 伝え合う言葉 中学国語 3	・二次元コードにタイトルがついていないため、開けてみないと内容が分からないので、生徒にとってやや活用しにくい。 ・「学びナビ」は生徒にとって、授業の見通しを持ちやすい。一方、教師にとっては、多様な授業展開を行いにくくなる可能性もある。 ・新出漢字が大きく、太いフォントで表示されており、生徒が意識しやすくなっている。 ・1年P178「子どもの権利条約」で使用されている写真や脚注の言葉が、家庭的に事情を抱える生徒に配慮が足りないと捉えられる可能性がある。 ・中学生という発達段階から考えて、生徒が興味を持ちやすく、内容も分かりやすい作品が多い。 ・古典では「桃太郎」や「助長」「立石寺」など、多くの作品にふれることができ、生徒の古典に対する興味・関心を持たせやすくなっている。 ・「まなびリンク」で小テスト、動画等活用できる資料が用意されている。 ・言語活動を行う場面が多く設定されており、対話的な学習に活用できる。

発行者 略 称	発行者 番 号	教 科 書 の 記号・番号	教 科 書 名	調 査 結 果 の 概 要
光 村	3 8	国語 038-72 038-82 038-92	国語 1 国語 2 国語 3	・ 学習の流れとポイントが一目で分かるように「学びへの扉」ページが横書きにされているが、生徒によっては戸惑う可能性がある。 ・ 多様なテーマや文種で構成されており、生徒がバランスよく学ぶことができる。 ・ 古典「平家物語」では、両観音開きでダイナミックな紙面があるなど、知的好奇心を刺激する教材が多い。 ・ 「学びのカギ」は生徒にどのような力をつけたいのかがわかりやすく、見通しを持って学習しやすい。 ・ SDGs や他教科との関連がわかりやすい。 ・ 資料が豊富で、資料集を使用しなくてもよい。 ・ 読書案内では読みたくなる仕掛けがされており、読書への関心を高めるのに効果的である。 ・ 二次元コードでスピーチのお手本を聞くことができ、生徒のモデルとなる。 ・ 「国語の力試し」では、生徒自身が1年間で身につけた力を振り返ることができる。 ・ 「語彙ブック」がわかりやすく、言葉の世界が広がる。 ・ 「ダイコンは大きな根？」や「ちょっと立ち止まって」は論理展開や構成がわかりやすい教材で、導入として生徒が興味を持ちながら、論理構成を学ぶにふさわしい教材である。 ・ 3年 P166、P167 の「つながる古典」は、古典の学習のつながりが可視化されており、生徒が古典への関心を持つことができる。 ・ 古典作品を年代別に年表で示すのはわかりやすい。

(様式2)

教科用図書調査に関する報告書

国語

観点別評価

「◎」 優れている

「○」 標準的

「△」 やや劣る

選定の観点	選定の視点		東書	三省堂	教出	光村
学習指導要領との関連	1	学習指導要領に示されている各教科の目標達成に結び付く内容になっているか。	○	◎	○	○
	2	「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた工夫がされているか。	○	◎	○	◎
	3	「知識及び技能」の習得と「思考力・判断力・表現力等」の育成をバランスよく図るための工夫がされているか。	○	◎	○	◎
	4	言語活動の定着を図るための配慮がなされているか。	○	△	◎	◎
	5	学習への興味・関心を高めるとともに、学びを深めるために、デジタルコンテンツを適切に活用することができる配慮がなされているか。	◎	◎	○	◎
	6	SDGs など、今日的課題が取り上げられ、生徒が興味・関心を持ち、主体的に学ぶとともに発展的な学習も行うことができる工夫がされているか。	◎	△	○	◎
内容	1	社会生活に必要な知識や技能が習得できるよう、日常生活と関連付けた工夫がなされているか。	◎	◎	◎	◎
	2	日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う内容となっているか。	○	○	○	○
	3	語彙を豊かにし、言語感覚を養う工夫がなされているか。	◎	◎	○	◎
	4	意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解することができる工夫がなされているか。	◎	○	◎	◎
	5	本や新聞、インターネットなどから集めた多様な情報を活用し、報告、説明、提案できる内容となっているか。	○	○	○	○
	6	我が国の伝統的な言語文化に親しんだり、理解したりすることができる内容となっているか。	◎	△	◎	○
構成・分量	1	内容の量と学習時間が適切に配当されているか。	△	○	○	○
	2	生徒の発達段階に即し、系統的、発展的に構成されているか。	◎	○	◎	◎
表記・表現	1	表記や表現について、文書や挿絵、写真等の使用が適切であるか。	△	○	△	△
	2	文字の大きさ、字間、行間などは適切であるか。	○	○	◎	○
	3	ユニバーサルデザインの観点から文字の大きさ、色の使用、紙面の構成などについて、配慮がされているか。	◎	○	○	◎